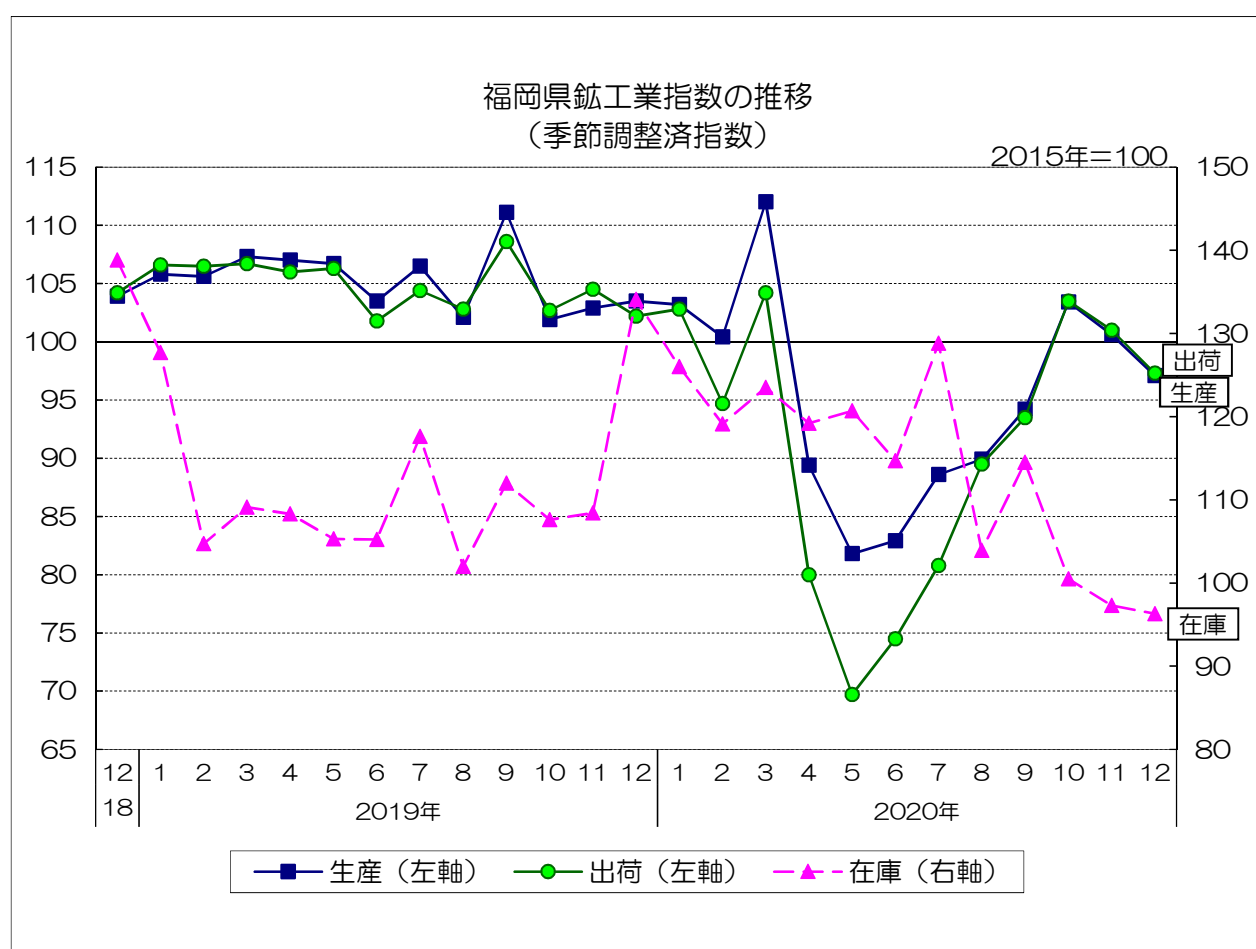


平成27（2015）年基準

福岡県鉱工業指数月報

（令和2年12月）



1. 基準年次
平成27年（2015年）を基準年とする。
2. 作成の範囲
日本標準産業分類の鉱業及び製造業を基礎とした産業の生産指数（付加価値額ウェイト）、生産者出荷指数及び生産者製品在庫指数について、原指数と季節調整済指数を作成した。
3. 分類
日本標準産業分類を基本とした業種分類と、採用品目の用途により財別に格付けした特殊分類の2通りの方法によっている。
4. 採用品目
生産指数は150品目、生産者出荷指数は149品目、生産者製品在庫指数は93品目である。
5. ウェイト
生産、出荷及び在庫指数の各品目のウェイトは、基準年次の付加価値額、生産者出荷額及び生産者製品在庫指数の鉱工業全体に対する一万分比である。
6. 作成の方法
総合算式は、基準時固定加重算術平均法（ラスパイレス算式）である。
7. 季節調整
季節調整の方法は、センサス局法を使用している。
季節調整済指数とは、原指数を季節指数で割ることによって、季節変動を除去した系列のことである。
8. 統計表中の符号
「-」：該当する数値がない場合
「O.O」：数値が単位未満の場合
「▲」：マイナスの場合
「x」：秘匿の場合
9. 資料
経済産業省「生産動態統計調査」、厚生労働省「薬事工業生産動態統計調査」、その他既存の資料及び県調査による。

令和2年12月の鉱工業指数

概 況

- 令和2年12月の鉱工業指数（季節調整済）は、生産が前月比3.5%低下の97.1、出荷が同3.7%低下の97.3、在庫が同1.0%低下の96.3となった。
- (1) 生産
 季節調整済指数 : 97.1で前月比3.5%低下 (2か月連続の低下)
 原指数 : 99.0で前年同月比4.7%低下 (2か月連続の低下)
- (2) 出荷
 季節調整済指数 : 97.3で前月比3.7%低下 (2か月連続の低下)
 原指数 : 99.4で前年同月比3.3%低下 (15か月連続の低下)
- (3) 在庫
 季節調整済指数 : 96.3で前月比1.0%低下 (3か月連続の低下)
 原指数 : 98.3で前年同月比28.2%低下 (3か月連続の低下)
- 前月比（季節調整済）
- | | [上昇] | [横ばい] | [低下] |
|------------|------|-------|------|
| 生産（19業種中）： | 8業種 | 1業種 | 10業種 |
| 出荷（19業種中）： | 8業種 | 0業種 | 11業種 |
| 在庫（18業種中）： | 9業種 | 0業種 | 9業種 |

(1) 九州・全国との比較

(2015年=100)

		季節調整済指数		原 指 数	
			前月比%		前年同月比%
福 岡 県	生 産	97.1	▲ 3.5	99.0	▲ 4.7
	出 荷	97.3	▲ 3.7	99.4	▲ 3.3
	在 庫	96.3	▲ 1.0	98.3	▲ 28.2
九 州	生 産	99.0	▲ 3.3	105.6	▲ 0.8
	出 荷	99.2	▲ 2.4	105.1	▲ 0.6
	在 庫	97.6	▲ 0.1	98.5	▲ 7.6
全 国	生 産	93.8	▲ 1.0	98.1	▲ 2.6
	出 荷	92.8	▲ 1.1	97.7	▲ 2.9
	在 庫	95.3	1.1	93.2	▲ 8.4

(2) 前月比（季節調整済）での上昇低下（生産指数のみ）

上昇に寄与した業種	低下に寄与した業種
汎用・生産用機械工業 印刷業 窯業・土石製品工業 繊維工業 パルプ・紙・紙加工品工業 鉱業 木材・木製品工業 家具工業	輸送機械工業 金属製品工業 化学工業 電子部品・デバイス工業 電気機械工業 ゴム製品工業 鉄鋼業 プラスチック製品工業 非鉄金属工業 石炭製品工業

四半期別指数の動向

2020年 10～12月期の概況

- 今期の鉱工業指数（季節調整済）は、生産が前期比10.5%上昇、出荷が同14.4%上昇、在庫が同15.9%低下となった。

（１）生産

季節調整済指数 : 100.4で前期比10.5%上昇 (2期連続の上昇)
原指数 : 102.5で前年同期比2.1%低下 (5期連続の低下)

（２）出荷

季節調整済指数 : 100.6で前期比14.4%上昇 (2期連続の上昇)
原指数 : 102.7で前年同期比2.4%低下 (5期連続の低下)

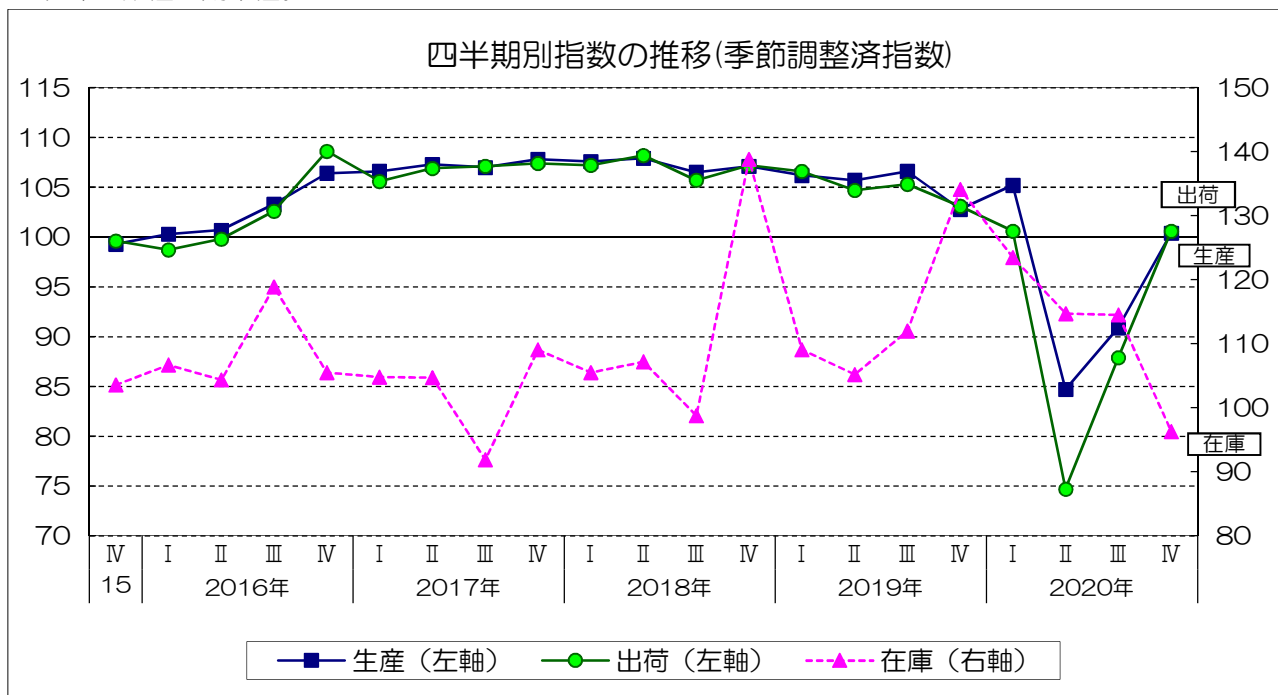
（３）在庫

季節調整済指数 : 96.3で前期比15.9%低下 (4期連続の低下)
原指数 : 98.3で前年同期比28.2%低下 (6期ぶりの低下)

2015年=100

		生 産		出 荷		在 庫	
		季節調整済 指数	前期比 (%)	季節調整済 指数	前期比 (%)	季節調整済 指数	前期比 (%)
2019年	10～12月期	102.8	▲ 3.6	103.1	▲ 2.1	134.1	19.7
2020年	1～3月期	105.2	2.3	100.6	▲ 2.4	123.5	▲ 7.9
	4～6月期	84.7	▲ 19.5	74.7	▲ 25.7	114.7	▲ 7.1
	7～9月期	90.9	7.3	87.9	17.7	114.5	▲ 0.2
	10～12月期	100.4	10.5	100.6	14.4	96.3	▲ 15.9
		原指数	前年同期比 (%)	原指数	前年同期比 (%)	原指数	前年同期比 (%)
2019年	10～12月期	104.7	▲ 4.7	105.2	▲ 4.6	136.9	0.8
2020年	1～3月期	104.7	▲ 0.9	101.0	▲ 5.5	113.8	13.2
	4～6月期	83.6	▲ 19.3	73.3	▲ 28.3	112.4	9.0
	7～9月期	90.6	▲ 15.0	87.6	▲ 16.7	113.8	2.2
	10～12月期	102.5	▲ 2.1	102.7	▲ 2.4	98.3	▲ 28.2

※在庫の数値は期末値。



全業種・主要8業種の動向

(令和2年12月)

○ 全業種の動向

- (1) 生産指数は97.1(季節調整済)となり、前月と比べると、汎用・生産用機械工業、印刷業などが上昇したが、輸送機械工業、金属製品工業などが低下したため、総合で前月比3.5%低下(前年同月比4.7%低下)となった。
- (2) 出荷指数は97.3(季節調整済)となり、前月と比べると、石炭製品工業、食料品・たばこ工業などが上昇したが、輸送機械工業、化学工業などが低下したため、総合で前月比3.7%低下(前年同月比3.3%低下)となった。
- (3) 在庫指数は96.3(季節調整済)となり、前月と比べると、輸送機械工業、汎用・生産用機械工業などが上昇したが、電子部品・デバイス工業、化学工業などが低下したため、総合で前月比1.0%低下(前年同月比28.2%低下)となった。

○ 主要8業種の動向

[生産]

業 種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	上昇または低下に寄与した主な品目(前月比)
鉄 鋼	▲ 0.9	▲ 1.8	鋼帯、鉄系熱間鍛工品、ブリキ・ティンフリースチール 等
金 属 製 品	▲ 20.9	▲ 5.1	鋼管(ベンディングロールで成形したもの)、飲料用缶 等
汎用・生産用機械	9.5	9.0	クレーン、半導体製造装置、ショベル系掘削機 等
電子部品・デバイス	▲ 10.2	▲ 8.6	トランジスタ
輸 送 機 械	▲ 6.4	2.3	四輪自動車、駆動伝導及び操縦装置部品、エンジン 等
窯業・土石製品	1.4	▲ 0.8	生コンクリート、ほうろう鉄器、耐火れんが 等
化 学	▲ 10.4	▲ 23.2	ビスフェノールA 等
食料品・たばこ	0.0	▲ 7.4	前月比横ばい
総 合	▲ 3.5	▲ 4.7	—

[出荷]

業 種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	上昇または低下に寄与した主な品目(前月比)
鉄 鋼	1.5	▲ 5.1	H形鋼、鋼半製品、特殊鋼熱間圧延鋼材 等
金 属 製 品	▲ 15.8	▲ 8.5	鋼管(ベンディングロールで成形したもの) 等
汎用・生産用機械	▲ 0.1	▲ 3.5	ショベル系掘削機、バルブ・コック 等
電子部品・デバイス	▲ 0.5	32.1	トランジスタ
輸 送 機 械	▲ 6.7	▲ 1.4	四輪自動車 等
窯業・土石製品	0.2	▲ 8.4	生コンクリート、ほうろう鉄器 等
化 学	▲ 11.1	▲ 11.6	ビスフェノールA、ポリカーボネート 等
食料品・たばこ	2.8	▲ 7.8	固形カレー、冷凍調理食品 等
総 合	▲ 3.7	▲ 3.3	—

[在庫]

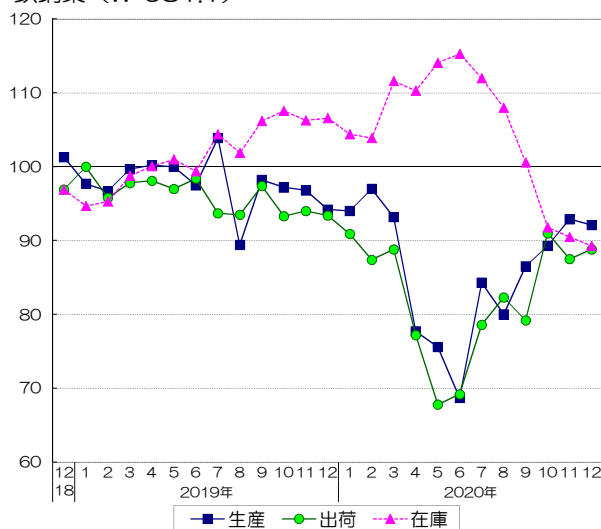
業 種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	上昇または低下に寄与した主な品目(前月比)
鉄 鋼	▲ 1.3	▲ 16.2	鋼半製品、鋼帯、冷延広幅帯鋼 等
金 属 製 品	▲ 6.8	▲ 10.1	飲料用缶、ガス湯沸器 等
汎用・生産用機械	14.0	28.4	ショベル系掘削機 等
電子部品・デバイス	▲ 34.7	▲ 93.5	トランジスタ 等
輸 送 機 械	41.4	86.7	四輪自動車
窯業・土石製品	▲ 1.4	▲ 13.0	遠心力鉄筋コンクリート製品、耐火れんが、セメント 等
化 学	▲ 6.0	▲ 23.3	ポリカーボネート、ビスフェノールA、ナフタリン 等
食料品・たばこ	1.2	▲ 10.7	発泡酒(その他雑酒含む)、海苔 等
総 合	▲ 1.0	▲ 28.2	—

(注) 前月比は季節調整済指数、前年同月比は原指数による。

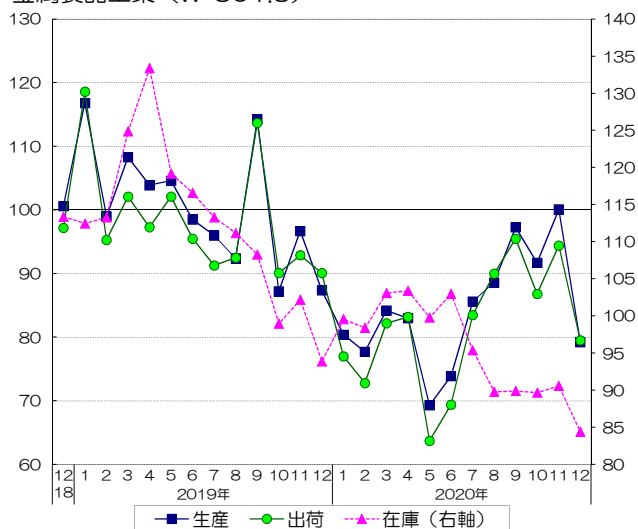
主要8業種別指数の推移（季節調整済・2015年=100）

（）内は、生産指数のウェイト

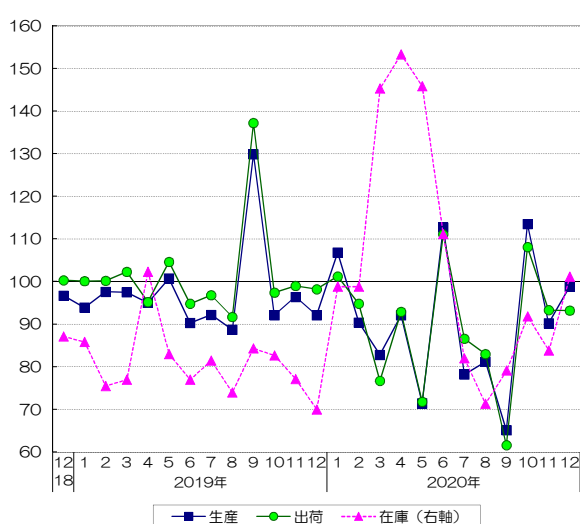
鉄鋼業（w=981.1）



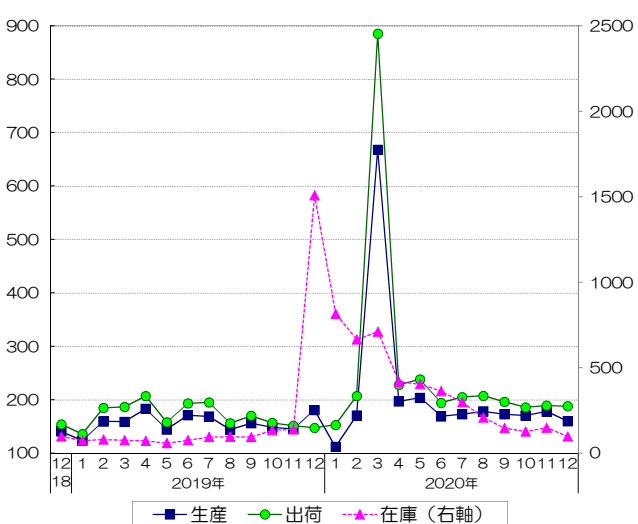
金属製品工業（w=501.5）



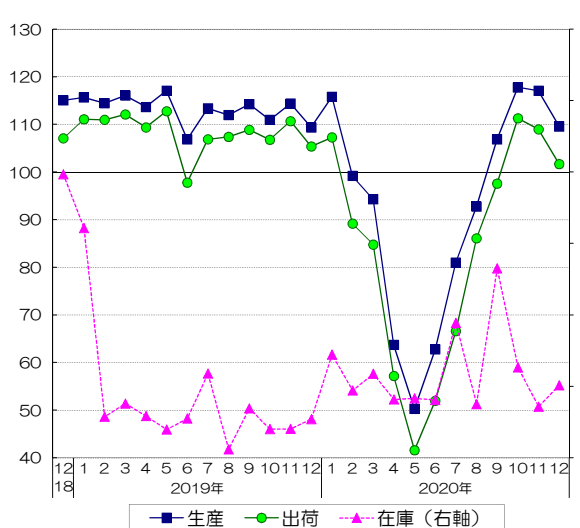
汎用・生産用機械工業（w=832.1）



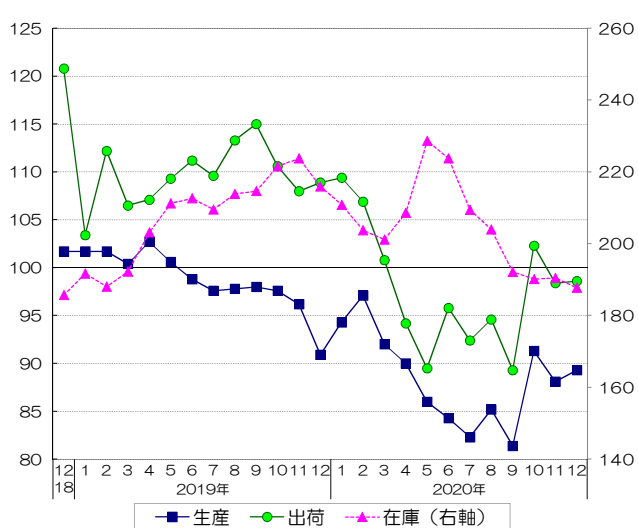
電子部品・デバイス工業（w=364）



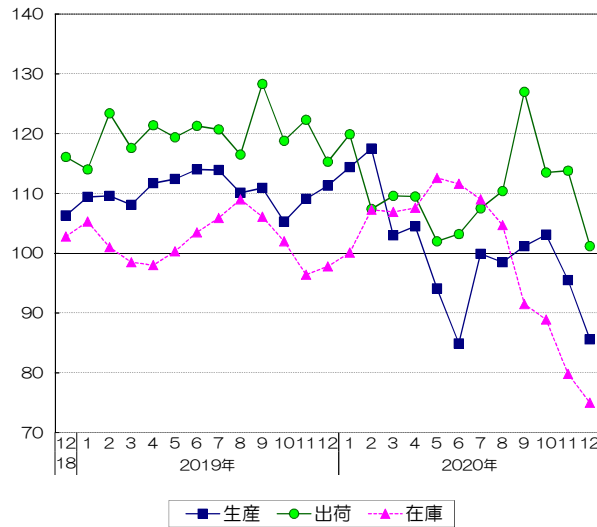
輸送機械工業（w=2024.8）



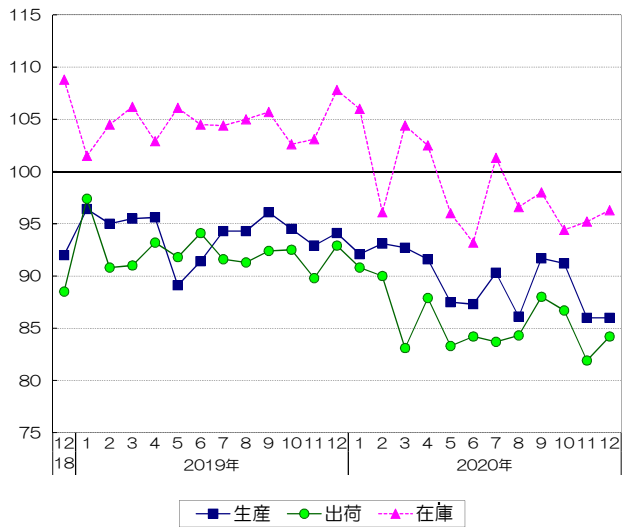
窯業・土石製品工業（w=593）



化学工業 (w=728.8)



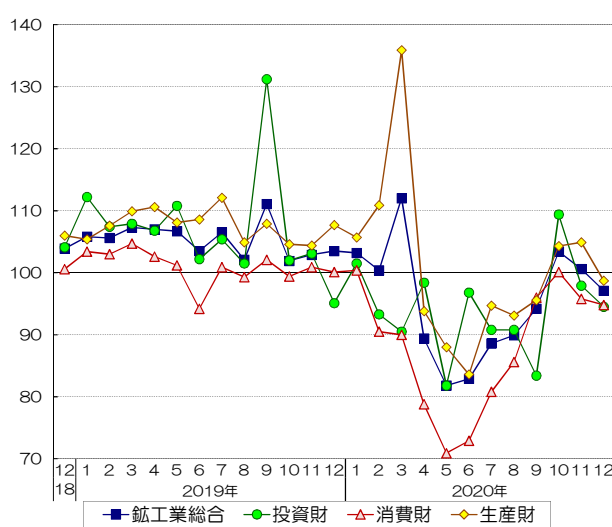
食料品・たばこ工業 (w=1714.9)



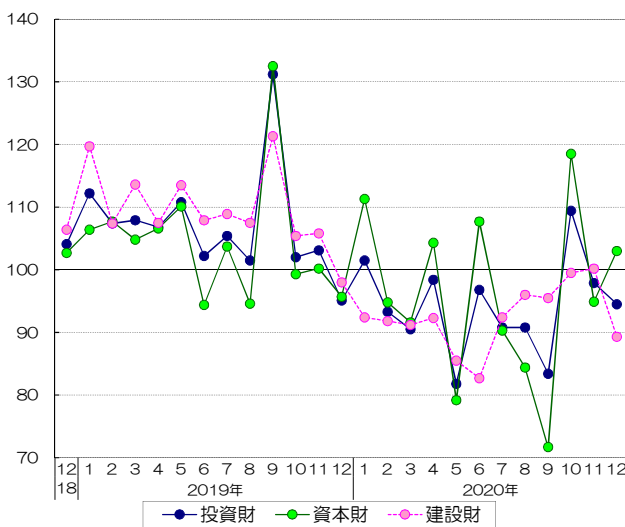
福岡県鉱工業生産指数財別の推移 (季節調整済指数・2015年=100)

() 内は、生産指数のウェイト

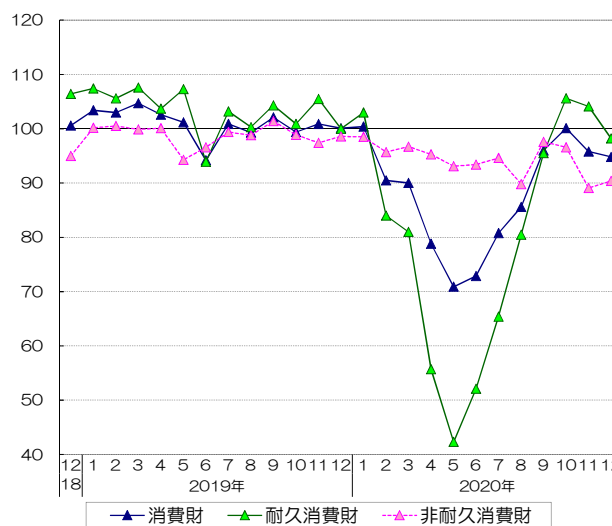
鉱工業総合



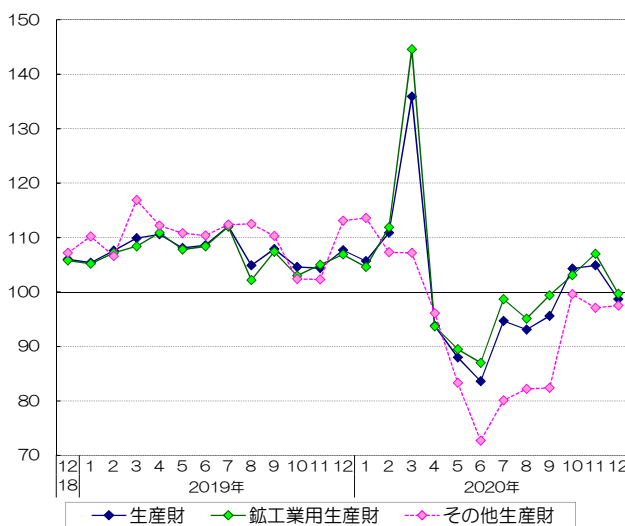
投資財 (w=1705.7)



消費財 (w=3334.9)



生産財 (w=4959.4)



平成27（2015）年基準 福岡県鉱工業指数月報
（令和2年12月）

福岡県企画・地域振興部調査統計課
代 表 （092）651－1111

直 通 （092）643－3190
F A X （092）643－3192
e-mail chosa@pref.fukuoka.lg.jp